

事業番号	165
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	道の駅潮見坂管理運営事業			担当課	商工観光課	
事業期間	開始年度	平成18年	～	終了予定年度	担当係	商業観光係
総合計画	めざすまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち				
	目標	6 人が集うまち				
	成果指標	入場者数	中間目標 (H27)	110万人	最終目標 (H32)	120万人
予算区分	一般会計	7 款 商工費	1 項 商工費	3 目 観光費		
	細事業	711 道の駅潮見坂管理運営事業				
位置づけ	関連計画					
	根拠法令	湖西市道の駅地域振興施設条例、湖西市道の駅地域振興施設条例施行規則、湖西市道の駅潮見坂駅長等設置規則				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
事業の目的(何のため)	市内観光施設及び宿泊施設の入込客数増加を図る 交流人口の増加による、まちの賑わい及び活気を創出する					
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興施設の運営管理(施設修繕等、売上金のチェック)</li> <li>・委託先業者及び出荷部会と合同イベントの開催</li> <li>▷セタイイベント</li> <li>▷元気フェスタ</li> <li>▷初日の出を見よう</li> <li>▷開設周年イベント等の開催</li> </ul>					
これまでの改善・見直しの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下り線の開通(平成20年)</li> <li>・情報コーナーの充実(エアカーテンの設置、及びエアコンの増設、情報端末画面の更新)</li> <li>・各種修繕</li> <li>・安心・安全な商品の提供(出荷部会を設置し、各種勉強会の開催)</li> </ul>					

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	25,963	28,140	27,503	(内訳)	
	決算	24,120	25,598		物件費	21,482
財源内訳	国庫支出金				維持補修費	631
	県支出金				負担金	50
	地方債				工事費	783
	その他	24,120	25,598	27,503	人件費	2,652
	一般財源					25,598
職員人件費	6,019	7,188	7,166	人工	1.0 人	

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	売上金	円	目標	4億6500万円	4億6500万円	4億6500万円
実績			4億8156万円	4億6637万円		
目標						
実績						
目標						

平成23度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報コーナーの充実（情報端末の更新、パンフレットの充実）</li> <li>イベント等の開催</li> <li>安心・安全な商品の提供（出荷部会の研修会）</li> </ul>				
課題・問題点 となった事項	使用者の選定の方法 駐車場利用者のごみ捨てに関するマナー トイレの故障に関しての国交省への連絡				
どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>開駅以来一業者が施設使用を行ってきたが、今後は公募を含め施設使用の方法を考慮する必要があるため、方針を決めて伝えた。</li> <li>国交省への連絡を速やかに行った。</li> </ul>				
改善点	情報コーナー出入口へのエアカーテンを設置した。			効果額 H24-H23 (千円)	

事業目的の 達成状況	開駅以来年間100万人程度が訪れ、地元農産品の買い物をしていくなど賑わい創出の拠点となっている。また、情報コーナーに観光パンフレットを設置して市内に立ち寄っていただけるよう、PRに励んでいる。				
※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	年間100万人が訪れ、市の情報発信の基地としての多大なPR効果がなくなる。使用料の減による歳入の減。その他、波及効果がなくなる。				
判定	B 改善	事業内容(手段)の見直しが必要	事業主体	市	
判定理由	現在、施設の軽微な故障などの修繕も市で判断をしなければならないなど、時間がかかる。施設修繕に関して、市が負担する金額の下限を定め、軽微なものは使用者者に修繕していただくなどの運用規則が必要である。				
今後の方向性	現在の施設使用期限の切れる年度から指定管理者制度等を導入し、業務の効率化、サービスの向上を図る予定である。				